

ただちに国会を解散して、国民の信を問え 応能負担で社会保障の拡充を！

# ほっかいどうの社会保障

2012年9月20日 北海道社会保障推進協議会 Tel:011-758-2648 FAX:758-4666

**私、生活保護申請できますか？ 鳴りやまない電話！**

**旭川・生活保護110番**

前回上回る**27**件

**深刻な相談相次ぐ！**

9月19日、旭川生活と健康を守る会などが「生活保護110番」を行いました。10時から14時まで行った電話相談ですが、電話が鳴りやみませんでした。前回（6月）に続いて2回目の開催、前回は上回る23件の相談、当日前の4件の相談と併せて27件でした。

今回は、北海道新聞（当日の朝刊）やNHKなどでの紹介、地元のフリーペーパーや「道北の医療」（道北勤医協の新聞）にも掲載されたこともあり、旭川をはじめ近郊の鷹栖や美唄市などからも相談がありました。



**広がる「生活できない実態」や、生活保護が知られていないことも明らかに！ 近々に申請同行は6件**

「生活の見通しが立たない。自分は生活保護が申請できないか」という相談が多く、年金生活をしている高齢者が多く、40～50歳代の働きざかりの世代からも相談もありました。

67歳の女性からは「働きながら、娘と同居していたが、持病のため仕事ができなくなった。蓄えはなく、娘の収入は月7万円、家賃は4万円で生活できない」との相談など、近々に申請同行が必要な方は6件、年内にも申請が必要な方もいました。「持ち家があるけれど、生活保護は受けられないか」という相談が5件。40代で「離婚したが生活が立ちいかない」という方2件、50代で「10月に解雇されるが、仕事が見つからず、生活の見通しが立たない」などの相談もありました。

会では、「生活保護不正受給バッシングで、生活保護を利用している人も、利用したいと思っている人も萎縮しているのではないか」と電話相談をはじめました。その影響か、恐る恐る電話してくる方、誰にも知られたくないとこっそり電話している方が多く、失業、低収入で生活できない実態が広がっていることや生活保護の制度も知られていないことも明らかになりました。会では、年内にも、もう一度「110番」を行う予定です。

**道社保学校まであと10日**

**参加申し込み19日夕現在**

**147名**

旭川・道北	71
道北以外	76
札幌・道団体	53
小樽・釧路・北見	各3
帯広・北広島	各2
苫小牧・室蘭・網走	各1
その他	7

道北勤医協友の会、札幌北区生活と健康を守る会、勤医協歯科などからも申し込み前回のニュースで申し込み状況をお伝えしましたが、各地から申込書が届いています。19日夕現在で147名です。（地域別の申込状況は左表）。

新たに、地元旭川では、道北勤医協友の会から18名、道北勤医協、民商、新婦人などからも申し込みがあり、参加組織を広げています。

道団体・札幌は全体で53名、新たに、道生連関係が13名（累計で25名）、勤医協歯科が6名などの申し込みがありました。申し込みを早めをお願いいたします。

解散して国民の信を問え！ 「社会保障・税一体改革」を撤回させ、社会保障の拡充を

今週の宣伝は 20日（木）12:15～紀伊国屋札幌本店前



10月25日（木）は **渡辺治氏**を迎えて**学習決起集会**

18:30～ エル・プラザ ホール